

令和8年度 前期 清里小学校学校評価アンケートの考察と対策

アンケート期間：9月11日～9月29日

回収状況：児童 71名／73名（97%）
保護者 59名／73名（81%）
教職員 13名／13名（100%）



【総評】

後期におけた取組の方向

- 学習に意欲的に（熱心に）取り組むための授業改善と家庭学習の充実
※あらおベーシックの授業展開とタブレットの活用で、全員が活躍し基礎・基本を確実に身に付け、「わかった!」「できた!」を増やす。
- 自信をもって勉強や活動に取り組めるようになる仕掛けと声掛けの工夫
※身の回りのいろいろなことに興味をもち、「どうして?」「どうすればいい?」と自分で考える機会を多く作る。子どもが自ら考え取り組んだことは、失敗しても認め・ほめ、結果だけでなく過程を大切にしていく。

【個別分析】※本年度、評価項目を変更しましたので、過去との比較は空欄です。

◎きわめて良好3.8↑ ○良好3.4↑ □標準的3.0↑ △▲課題あり2.9↓
半年前・1年前との比較：上昇0.3以上↑↑ 上昇↑ 変化なし＝ 下降↓ 下降0.3以上↓↓

（1）子どもは、楽しく学校に通っている

	教職員	保護者	児童
今回	3.2□	3.1□	3.4○
半年前			
1年前			

- 児童の肯定的な評価の割合が高い項目である。
- 多くの児童が学校での生活を楽しいと感じている。一人一人が活躍し、互いを大切にしよう楽しい学校・学級づくりを心がけていく。

（2）子どもは、勉強や活動に自信を持って（進んで）取り組んでいる

	教職員	保護者	児童
今回	3.0□	3.2□	3.3□
半年前			
1年前			

- 肯定的な評価の割合がやや高い項目である。
- 児童が学習や生活の中で、わくわくしたり満足したりできるよう、学校の教育活動の中で、児童が活躍し認められる取組を増やしていく。

（3）子どもは、学習に意欲的に（熱心に）取り組んでいる

	教職員	保護者	児童
今回	3.2□	3.0□	3.1□
半年前			
1年前			

- 肯定的な評価の割合が僅かに高い項目である。
- 誰一人取り残さない、児童が主役になる授業づくりを進めているが、まだ十分に達成できていないことが表れている。全員が活躍し、満足できる授業づくりを今後も継続していく。

（4）子どもは、友達と仲良く過ごそうとする意識が育っている（話し方や接し方）

	教職員	保護者	児童
今回	3.3□	3.4○	3.4○
半年前			
1年前			

- 肯定的な評価の割合が高い項目である。
- 学級内に留まらず、他学年とも仲良く過ごしている姿が日頃から多く見られる。思いやりある言動や他者とのより良い関わり方は、ソーシャルスキルの練習を2週に1度行っている。

(5) 子どもは、学校のきまりを守っている							
	教職員	保護者	児童				
今 回	3. 2□	3. 4○	3. 3□	○保護者の肯定的な評価の割合が高い項目である。 ○学校のきまりやがんばり目標を設定するだけでなく、重点をしぼって継続的に指導と評価を続けている。今後、児童が自らきまりやマナーを守ろうとする意識をもてるようにしていく。			
半年前							
1 年前							
(6) 子どもは、清潔で健康的な学校生活を送っている（手洗い・うがい・運動など）							
	教職員	保護者	児童				
今 回	3. 0□	3. 4○	3. 3□	○保護者の肯定的な評価の割合が高い項目である。 ○保護者のご協力で衛生・健康的な生活が送れている。酷暑も過ぎ、季節もよくなったので、外遊びを奨励し、積極的に体を動かし、健康づくりをする児童を育てていく。			
半年前							
1 年前							
(7) 学校（教職員）は、子どもに公平に優しく温かく接している							
	教職員	保護者	児童				
今 回	3. 5○	3. 5○	3. 5○	○肯定的な評価の割合がとて高い項目である。 ○職員は、人権教育の研修をはじめ、様々な機会をとらえて公平で温かい接し方を学んでいる。これからも、一人一人の児童を大切にす取組を継続していく。			
半年前							
1 年前							
(8) 学校（教職員）は、子どもを認め・ほめ・励まして、良さを伸ばしている							
	教職員	保護者	児童				
今 回	3. 2□	3. 4○	3. 5○	○肯定的な評価の割合が高い項目である。 ○小規模校の特色をいかし、担任だけでなく、すべての職員で一人一人の児童を見守り、伸ばしていくことを心掛けている。職員が一層意識を高く持ち、ほめて伸ばす言葉かけを増やしていく。			
半年前							
1 年前							
(9) 学校（教職員）は、いじめの未然防止に取り組んでいる							
	教職員	保護者	児童				
今 回	3. 5○	3. 2□	3. 6○	○肯定的な評価の割合が高い項目である。 ○日常観察と合わせ、アンケートをしたり児童の話を聞く教育相談の時間を設定したりして未然防止に取り組んでいる。保護者が気になることがある場合は連絡をいただき、連携して取り組んでいく。			
半年前							
1 年前							
(10) 学校（教職員）は、安全・安心な学校づくりに努めている							
	教職員	保護者	児童				
今 回	3. 5○	3. 4○	3. 6○	○肯定的な評価の割合がとて高い項目である。 ○教室や校舎の施設・設備の安全管理は徹底して行っている。保護者・地域の方のご協力で通学路等の安全も確認していただいている。命と健康を守ることを今後第一に考えて取り組んでいく			
半年前							
1 年前							
(11) 身についてきたと思う資質・能力＜全回答者のうち、選択した人の割合（％）＞							
	教職員	保護者	児童		教職員	保護者	児童
知的好奇心	6 9 %	5 4 %	4 9 %	やり抜く力	5 4 %	4 7 %	6 1 %
向上心	38%	4 1 %	6 3 %	コミュニケーション力	4 6 %	4 4 %	4 9 %
自制心	6 2 %	4 4 %	4 4 %	共感性	6 2 %	5 4 %	6 1 %
忍耐力	38%	37%	5 2 %	協調性	6 2 %	36%	72%
○「忍耐力」の評価が最も低い。困難から逃げず、立ち向かえるよう支援をしていく。							

学校をよりよくするための意見（保護者自由記述）

- 先生方はよく子どもたちを見ていて褒めてくださっています。親として安心しています。
- 楽しく学校に通っており、皆様に感謝します。

夏休み明け近くに届いた学校からのお知らせ見て「ん？」と時が止まりました。連休明けに自殺する子などが増えること、知りませんでした。それから少し調べてみました。連休明けは誰しも学校や仕事が億劫なものです。それだけでは無いから この実情なのでしょうね…。啓発いただきありがとうございます。家庭や周囲での見守りがあることで防げることは大いにあると思います。

そして1つ、情報としてお聞き入れください。子ども達の日常に"スキップ"を取り入れる試みも提案させてください。頂長々入力しやっとな本題です。

人はスキップしながら落ち込めないそうです。スキップ自体、嬉しい時にするような動作なので 動作につられて心も上がるそうです。

こどもたちが何かに落ち込んだとき、少しでも気持ちが軽くなるなら、または、これをしたら大丈夫。と思えるように ひとつの情報として。こんな学校あったらいいな と思って送ってみました。
- 家では学校の様子が分かりませんが、先生から言われたこと、決まりやルールは「守らないといけない」と思っているみたいです。上記の質問で、身についてきたと思う資質、能力に関しては、親が感じていることと、先生が感じていることの擦り合わせをしていただけると助かります。

少なからずとも、1年生の先生方の対応、サポートは手厚いと感じていますので、本当にありがたいと思います。校長先生も登校班と一緒に付き添っていただいたり、保護者としては心強いです。他の先生方も、目に見えないところでたくさんサポートしていただいていると思いますが、先生方のそれぞれの役割の見える化もあっていいかと個人的に思いました。

カスハラがあるといけないので強くは言えません。明るい職場にさせていただき、楽しく過ごしていただきたいです。

→ 職員にとって励みになるお言葉ありがとうございます。日頃から保護者の皆様・地域の皆様にご理解とご協力をいただき、職員が子どもと向き合う時間を十分に確保できるよう、働き方改革を進めさせていただいています。職員の心身が安定し笑顔であってこそ、子どもたちにも笑顔で丁寧に接していけると考えています。子どもたち自身も、自分の心の在り方を整える方法を身に付けられるといいですね。「スキップ」の効用などいろいろな視点を与えていただいております。すなおで何でもがんばる清里っ子がより良く成長していけますよう、今後とも子どもを中心に据えて、学校と保護者が両輪となって前進していきましょう。よろしくお願いします。
- 子ども達が挨拶や提出物の期限がきちんと守れるなど、もっと達成感を実感できるような指導を期待しています。
- 全体的に見て、本当にとってもよく子どもを見ていただけているように感じ感謝しております。ただ少し気になることが
プールの授業では、大雨が降ったあとや大雨のやんだすきにプールをしたり、塩素をしっかりと入れていたとしても少し気になりました。

また、先生の注意指導の中で、先生の前の赴任されていた学校の児童と今受け持っている児童と比べると発言があったようで、それは…と少し思ってしまいました。

しかし それ以上に日頃の指導感謝しております。今後ともよろしくお願いします。

→ 貴重なご意見ありがとうございます。職員は「認め・ほめ・励まし・伸ばす」を合言葉に、子どもたちへの丁寧であたたかい指導を心掛けています。しかし、職員の発言が不適切になる場合があったことを反省し、より良い指導ができますよう、研修を重ねて参ります。ご理解とご協力をお願いします。

○ **先日、大きな地震と津波警報の発令がありました。避難の方針や児童受け渡しの方法について確認が必要と感じます。**

→ 貴重なご意見ありがとうございます。ご家庭では直接の被害がなかったと伺っておりますが、ご身内の方やお知り合いの方に被災された方がいらっしゃるのではないかと思います。早期の復旧・復興をお祈り申し上げます。

気候変動の影響も受け、災害が激甚化していると言われます。学校では、より現実
に即した避難訓練等を行い、子どもたちに命を守る力を身に付けられるよう工夫して
取り組んでいます。台風や大雨等の警報発令時の対応方針は、荒尾市で統一したもの
を以前配付させていただいています。再度ご確認くださいとありがたいです。（連絡
をいただきますと、文書を再度お渡しいたします。）引き渡し訓練は、5月に基本の
引き渡し方を確認し、経験していただきました。訓練を終え、大雨時や台風接近時な
ど、必要に応じて躊躇なく引き渡しの連絡をさせていただくことにしています。子ど
もたちの命を守るため、保護者の皆様のご協力をお願いします。

○ **友達に言われて悩んでいることがあるようです。先生はやんわりと注意するくらいで
あまり効力がないとか。先生にもいつ相談していいのか分からないようです。**

→ 貴重なご意見ありがとうございます。子どもたちの心の状態について日々目を向け
ていますが、残念ですが完全に把握することはできません。子どもたちの友達関係に
ついて、いじめは絶対に許されない（許さない）ことを基本にしながら、子どもた
ちの発達に応じて指導したり援助したりしています。また、子どもたちからの相談は、
いつでも・誰にでもいいと子どもたちに伝えていきます。子どもたちは担任が一番身近
ですが、すべての職員で子どもたちの情報を共有しながら対応にあたっています。ご
家庭でも「担任の先生がいそがしそうだったら、〇〇に話してみたら」などと、お子
様が話しやすそうな職員を紹介していただくこともいいのではと思います。

それでもお子様が困っている様子がありましたら、遠慮なく学校へ連絡いただくと
ありがたいです。一緒に解決に向けて取り組んでいきたいと考えています。